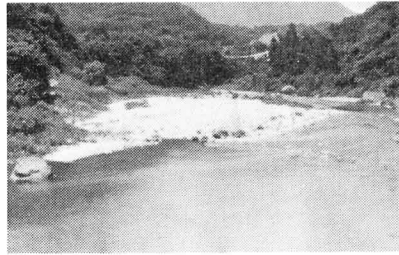


2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 観察する場所

塔のへつりのつり橋より 100 m 下流
の川原

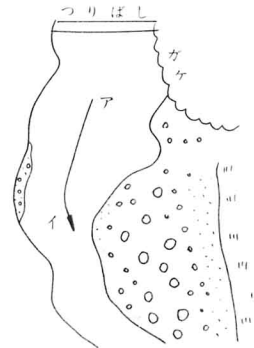


(2) 川全体が見通せる場所から、川原の様子や水の流れを観察する。

① 川の全景をスケッチする。

② 川原や川原のふちのけずられている様子、水の流れなど、気付いたことを書き入れる。

③ 流れが大きく曲がっている場所で、川原ができているのは流れの内側か、外側か。また、川岸のけずられているのはどちらだろうか。



(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

① ①付近の川原に立ち、川原から対岸に進むにつれ、深さはどう変わっているか調べてみよう。

② ⑦, ①の付近で、それぞれ10mの長さを取り、川の流速を調べてみよう。また、⑦, ①の川底の違いも調べてみよう。⑦付近の川底は砂が多いのに、①付近の川底には大きなレキもみられるのはどうしてだろう。

③ 水中のぞき箱で、①付近の川底をのぞき、砂やゴミが流されている様子を観察しよう。

④ ①の場所で、川原の近くと対岸の近くとで、流れの速さがどう違うか、木片などを流して比べてみよう。

⑤ 川原でも高い部分と低い部分が見られます。高い部分と低い部分とで、レキの大きさも違ってきます。どうしてこのような違いができるのか、考えてみよう。

⑥ 流れの速さと川の深さ、川底の砂やレキの大きさ、川原や川岸のけずられ方との間にどのような関係があるか、まとめてみよう。